



まくろく

わたしたちのまち

(昭和57年12月1日現在)

人口 21,356 (-7)

男 10,563 (+8)

女 10,793 (-15)

世帯数 6,342 (+5)

—人のうごき(11月中)—

転入 75人 転出 105人

出生 32人 死亡 9人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



謹賀新年

58年

1

No.372

おもな内容

年頭のあいさつ.....	2
着実に進むまちづくり.....	3
われらのしし年生まれ.....	4・5
無火災を願って 消防団出初式.....	6
ぼくのお母さん・わたしのお父さん⑧.....	6
献血の輪をひろげよう.....	7
短歌あゆみ会 11月詠草.....	7
ストップ・ザ・交通事故⑧.....	7
ふるさと館ニュース⑧.....	8

旧途別川にオオハクチョウが飛来

相川の旧途別川にオオハクチョウが、昨年の11月30日に一羽飛来しました。この写真は昨年の3月に写したのですが、今年もたくさんのハクチョウが川面で羽を休めることでしょう。見学の時は、パンを与えたらきっと喜ぶことと思いますが、いたずらはやめましょう。

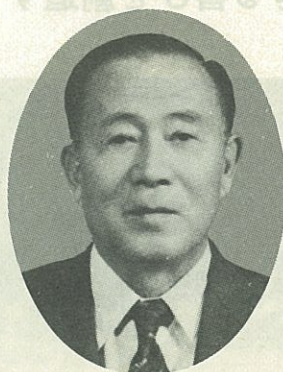
●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111

●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

年頭のごあいさつ

輝ける新年を迎えて

幕別町長



大石忠夫

町議会議長



山田 栄

新しい年を迎えられ、今年は何かよいことがあるように、嬉しいことがあってほしいという、明るく楽しい希望を、それぞれの家族と共にもちたられ、おられる様を思い浮かべて、そのような年であってほしいと、心からお祈りします。

振り返ってみますと、二カ年続いた冷害、風水害など、思いがけないほどの被害を、農家のかたが受けられました。その影響は、商業のかたがた、労働者のかたがたにも響き、苦しいことが多くありました。幸いにも昨年は、前二年に比べますと天候に恵まれ、加えて、一層確実な経営努力によりまして、総体的には、最近にない豊作に恵まれ、明るく喜ばしい年となることができました。

新しい年は、この喜びをどのように続けら

昭和五十八年の年頭にあたり、議会を代表して、新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆さん、明けましておめでとうございませう。ここに輝かしい新春を迎えるにあたり、平素のご指導ご支援に対し、深く感謝し、各位のご清福とご繁栄をお祈り申し上げます。さて、本町の予算の推移を見るに、年々著しく増加し、この十年間に約六倍余りに膨張し、町勢に目覚ましい伸展を見たことは、まことに同慶に堪えません。これ、ひとえに町政執行者の手腕と努力のたまものであり、深く敬意を表する所であります。しかるに、今や国は、累積する国債の重圧による財政の悪化により、地方自治体における財政に、大きく影響することは必定であり、五十八年以降における本町の財政も、極めて厳しくなるも

れるか、国の経済は、破産に近いほどの財政難です。この影響は、幕別町にも直接関係し、また、どの家庭にもいろいろな面で、深いかわりをもつこととなります。それに耐えられる各家庭の経済設計、生き抜くための新しい発想を持って、実践していく勇氣を持たなければならぬと思います。

新しい年に、明るい希望と困難に打ち勝つぞ、という強い決意を、心の中にしっかりと育てませんか。そのためには、心も体も健康でなければならぬと思います。

二万一千の町民のかたと新しい年を迎え、一人ひとりが幸せで、町は平和に満ち「生きる喜びを創造するまち・幕別町」の町づくり、協力と努力を願って、新年のごあいさついたします。

のと思料されますので、経費の節減合理化に努めつつ、住民福祉の向上と地方自治の発展に、努力しなければならぬと思います。

本町の町勢は、飛躍的發展を見たといえども、なお、問題は山積みし、町民の要請は諸般にわたり、強力になされるところと見られます。このようなときにこそ、大処高処に立って、なお一層公正な行政を執行し、町民の理解と協力を求めつつ、負託にこたえていく努力が、強く要求されるものと考えます。

私どもの任期も、余すところわずかとなりましたが、最後まで最大の努力を傾注する覚悟であります。今後とも、なお一層のごべんたつを願ってやみません。

以上、いささか所感を述べて、年頭のごあいさつといたします。

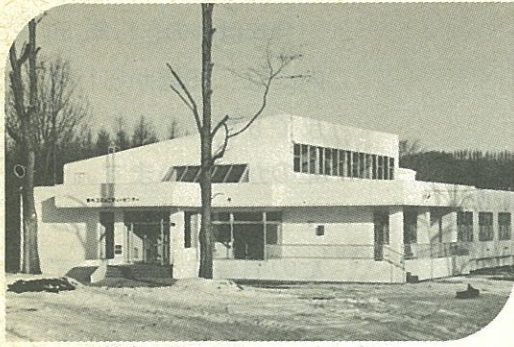
着実に進むまちづくり

町の施設、相次いで完成

糠内コミセン新築

糠内地区には、公民館がありませんが、これは役場や消防署の出張所も入居し、住民の文化活動や他各種の活動には、スペース的に限りがあり、また、多数の人が集まる、結婚披露宴などの会場確保という問題がありました。

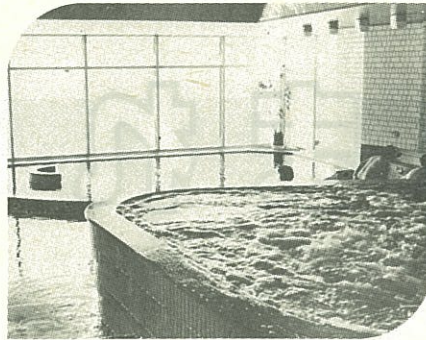
こうした問題を解消するため、地域住民活動の拠点となる、コミュニティ・センターを昨年の七月十五日に着工し、総事業費九千九百六十万円、十二月二十日に完成しました。面積六百九十九平方メートル、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建てで、内部は二百五十人収容の



糠内コミュニティ・センター

ステージ付きのホールを中心に、十畳敷きの和室が四つ設けられています。

幕別温泉浴場新築



幕別温泉ホテル新浴場

幕別温泉ホテルは、町営の国民宿舎としては、全道一の施設の規模を誇り、利用客も年々増加しています。これまで、浴場から展望が利いたのは男性用だけで、女性の利用者からは「女性用も展望ができるように」という強い要望がありました。

そこで町では、昨年の七月十五日に新浴場の建設に着手し、総事業費一億二千三百三十四万円、二月十日に完成しました。

広さの五百八十平方メートル。男女とも浴槽は二つあり、その一つは気泡式で、女性用もすばらしい展望が開け、また、家族浴槽も完備されています。

白人小学校新築

白人小学校は、札内地区の中心校として、八十年余りの歴史を持ち、旧校舎は昭和七年に建てられた老朽校舎でした。

新校舎は、一昨年の七月十六日に着工し、総事業費八億千七百三十七万円、昨年の十一月十三日に完成しました。面積四千七百四十四平方メートル、鉄筋コンクリート造二階建てで、特徴は校舎の中央に体育館があり、その周りに教室や職員室などがあることです。

体育館を囲む廊下の天井は、ガラス張りになっており、吹き抜け箇所がたくさんあって、直接、太陽の光が入るため、大変校舎内は明るくなっています。

途別小学校新築

途別小学校は、昭和二十八年の資材不足の折に建てられた校舎で、老朽化が激しく、今回の新築となりました。

新校舎は、昨年の六月十七日に



途別小学校新校舎

着工し、総事業費二億八千四百四十万円、十一月三十日に完成しました。面積千三百四十八平方メートル、鉄筋コンクリート造二階建てで、特徴は、屋根から壁まで全体を真っ白にして「ホワイト・スクール」のイメージを出したことで、屋根の上には時計台もあり、田園地帯を象徴する学校に生まれ変わりました。

札内北小学校増築

札内北小学校は、五十六年の四月に、札内地区で三番目の小学校として開校しました。その後、児童数の増加と特殊学級の施設などにより、増築したものです。

増築は、昨年の六月十七日に着工し、総事業費九千六百五十万円、面積五百三十六平方メートル、鉄筋コンクリート造二階建てで、十一月十九日に完成しました。

迎春

幕別町役場

町長 大石 忠夫
助役 高橋 一男
収入役 二川 豊

幕別町議会

議長 山田 栄
副議長 黒島 通
議員 佐藤 糸江
加藤 秀雄
石原 郁夫
国枝 光明
岸上 利雄
林 源一
八十島宗正
前川 正
西田 利夫
廻淵 茂
笹島登喜生
須田 起
森脇 仁
折笠 要
中寺常次郎
山中 増雄
水野 正盛
高橋 勇
六郎田 勇
山崎 長一
小田 善一
関口 茂男
稲毛 空征
伏屋 隆徳

いのしし年

生まれ

今年はいのしし年。町内には、96歳から12歳まで8世代のいのしし年のかたがいます。そこで、8世代10人のかたの抱負などを聞いてみました。



明治20年生まれ
札幌内 中田 のいさん

明治三十年に、父や姉に連れられて札幌に入植したんだ。そして、農業をしたね。もう、こんな年になっちゃった。
最近はずいぶん弱く、耳も悪くなったし、体がだるいんだ。朝の食事はみんな食べられないがね、昼間はほとんど床に就いている。食事は

なんでも好んで食べるが、特に魚が好きなんだよ。
毎日、仏さんにお参りをし、仏さんのおかげで、長生きさせてもらっているって信じているんだ。今の生活は極楽で、もったいないと思っているし、皆様には、ほんとうにありがたいと思っている。

幕別に来て六十五年になるんだ。南町老人クラブでみんなと話をするのが楽しみだな。孫は何人いるか知らんが、子供は十人なんだ。正月なんかには子供たちが、温泉へ連れていってくれたり、遊びに来るのが一番楽しみだね。今は自動車があるから便利なものだ。

明治32年生まれ
南町 小串 九三さん



明治44年生まれ
札幌内青葉町 矢野ふ志ゑさん

私の趣味は、木彫り、短歌、ゲートボール、アーチェリーで、また、札幌内老人クラブで踊りも教えています。なにせ、遊ぶことがたくさんあり、家にいなくて家族から搜索願が出て、笑ったことがあります。いま、人生の青春みたいで、遊ぶことが健康の秘けつです。

父子家庭は、国で実態調査をしているが、なにも措置がないので、民生委員として残念です。特に、日中の子供の世話に問題があると思います。私は今年還暦で、子供たちが還暦の祝いを何か考えているようだけど、祝ってもらっても、うれしくいですね。

大正12年生まれ
札幌内堤町 吉田 正公さん



迎春

幕別町農業委員会

- 会長 中寺常次郎
- 会長代理 寺林 幸雄
- 委員 西田 利夫
- 奈良 武一

- 長谷川俊三
- 中村 勝美
- 廻淵 茂
- 浦田 邦夫
- 妹尾 寿男
- 広瀬 喜章
- 七島 信雄
- 山中 増雄
- 佐藤 忠幸
- 坂下 庄蔵
- 鈴木 良秋
- 沢田 清信
- 高橋 勇
- 杉本 峰夫
- 遠藤 信志
- 難波 春男
- 折笠 要
- 片山 利光
- 富谷 政男

幕別町教育委員会

- 委員長 黒川 喜雄
- 代理 辺見 徳明
- 委員 梅田 敏男
- 牛尾 毅
- 教育長 福田 省市

われら



昭和四十六年生まれ
札内中央町 小原 博樹くん
 白人小の校舎が新しくなって、去年の十一月二十日にみんなで引っ越しをした。新しい校舎は、明るくてきれいだし、前よりも教室が暖かいから勉強がしやすくなった。
 僕は、機械をいじるのが好きだから、大きくなったらお父さんの仕事をしたい。お父さんの手伝いは、店を掃除したり、重い物を持つときは手伝う。



昭和四十六年生まれ
中里 土谷美津子ちゃん
 昨年の七月、ふるさと館主催のサバイバル・スクールで、知らない人と友だちになり、仲良くなったことが、いちばん良かったです。大変だったのは、三角小屋を作ったこと。
 小学校の思い出は、修学旅行で阿寒へ行ったことです。中学校へ行ったら、大勢いるから、みんなと仲良くしたい。クラブ活動はバレーボールをしたいです。



昭和34年生まれ
札内青葉町 松島 千秋さん

エーツノもう二十四歳なんです。か。広報紙に載せたら、みんなに年が分ってしまうわ。私は、保母になって三年目になり、ゆり組を担当していますが、子供が懐いて慕ってくれるから、毎日がとっても楽しみだわ。これから今の仕事を続けたいですね。



昭和22年生まれ
寿町 笹原 雅之さん

私は結婚して二十五年で、銀婚式なんです。記念にどこか旅行と思いましたが、主人の仕事の都合もありますね。でも、記念になることを何か考えています。今まで家族そろって健康なんです。私たちが若くないし、健康を過信しないよう注意したいものです。

昭和34年生まれ
本町 松嶋真智子さん



昨年の三月に学校を出て、父の会社を手伝っている。主に配達の仕事で、毎日楽しく働いているんだ。そして、父の後継をできるよ努力している。趣味はなにもないんだ。お金があったら酒飲みに行きたいな。楽しかったのは学生時代で、今は暇がないね。

父が病気で倒れたもんですから、父の仕事を手伝っています。昨年は経済不況でしたが、今年も大変な年になると思います。会社の組織づくりをして、安定した会社に努力したいですね。上の子供が四月に小学校へ入学します。明るい健康な子に育ってほしいと思います。

昭和10年生まれ
旭町 古市由美子さん



たばこ消費税は
 暮らしの中に
 生かされています



(昭和56年度のたばこ町消費税は74,090千円)

●たばこは町内で買しましょう。

- 町選挙管理委員会**
- 委員長 中川 秋義
 - 〃 職務代理者
 - 委員 大野 春雄
 - 中村 修
 - 杉本富美男
- 公平委員会**
- 委員長 森田 宣雄
 - 〃 職務代理者
 - 委員 沢井 重一
 - 福野 黎明
- 監査委員**
- 委員 谷地田豊四郎
 - 廻渕 茂
- 固定資産評価審査委員会**
- 委員長 滝川 登
 - 〃 職務代理者
 - 委員 矢野 善七
 - 笹井 延雄

無火災を願って 消防団出初め式

永年勤続者等表彰式も開催

幕別消防団恒例の出初式が、一月七日に第一分団(幕別)八日に第三分団(糠内)九日に第二分団(札内)でそれぞれ午前十一時から行われます。

出初式では、団員全員が無火災を願っての神社参拝、そして分列行進が行われ、その席上、次のかたが表彰されることになりました。

■北海道知事表彰

- ▽勤続三十年・鉾館守(副団長)
- ▽勤続二十年・大島輝男(第三分団員)

- ▽勤続十年・小野光義(第一分団員)阿部勝利(同)早津邦男(同)斉藤正憲(同)吉田賢治(同)大上光一(同)



昨年9月に行われた消防団演習

- (同)津村章広(同)有沢章(同)西岡幸康(第二分団員)森脇伴吉(第三分団員)鎌田明(同)松岡明(同)

■消防協会表彰

- 日本消防協会会長表彰

- ▽勤続三十年・鉾館守(副団長)

●道消防協会会長表彰

- ▽勤続二十年・大久保正司(団長)
- ▽勤続二十年・額瀬太郎(第一分団班長)上田栄一(同)大島輝男(第三分団員)

- ▽勤続十年・香田徹雄(第二分団員)中村栄光(第三分団員)中村正昭(同)森原久雄(同)

●道消防協会十勝支部長表彰

- ▽功労章・栗野一二三(第三分団班長)

- ▽勤続三十五年・西川薫(消防団本部長)大橋久雄(第三分団員)

- ▽勤続二十五年・加藤忠雄(第二分団副分団長)末永武(第二分団班長)

- ▽勤続十五年・宗岡寿一(第二分団班長)大野多喜夫(第二分団班長)藤岡学(第三分団員)

- ▽勤続五年・林郁夫(第一分団員)嶋田春光(同)中川弘幸(同)金沢佳樹(同)小野馨(同)高橋秀樹(第二分団員)伏見忠行(同)八巻省三(同)

- (同)船越清光(第三分団員)

■東十勝消防事務組合長表彰

- 組合長感謝状

- ▽勤続三十三年・中條正一(元第一分団部長)

●準無火災表彰

- 第二分団(五十七年一月一日から十二月二十日)第三分団(五十六年一月一日から五十七年十二月二十日)

●勤続表彰

- ▽勤続三十年・大久保正司(団長)鉾館守(副団長)

- ▽勤続二十年・大島輝男(第三分団員)額瀬太郎(第一分団班長)上田栄一(同)

- ▽勤続十年・香田徹雄(第二分団員)中村栄光(第三分団員)中村正昭(同)森原久雄(同)

●精勤表彰(三百回)

- 長谷川洋州(第一分団員)前谷重夫(第二分団員)香田徹雄(同)大橋久雄(第三分団員)大島輝男(同)久保沼富一(同)

●精勤表彰(百五十回)

- 関谷勝彦(第一分団員)金沢佳樹(同)
- ▽勤続五年・林郁夫(第一分団員)嶋田春光(同)中川弘幸(同)金沢佳樹(同)小野馨(同)高橋秀樹(第二分団員)伏見忠行(同)八巻省三(同)船越清光(第三分団員)

■幕別消防団長表彰

- ▽出勤率百%・佐々木正泰(第一分団部長)永井晴男(第二分団班長)大橋久雄(第三分団員)松岡明(同)



古舞小学校(1年) 富田 勝二くん



お母さん

ぼくのお母さん⑧ わたしのお父さん

ぼくのおかあさんは、がつこうにいくとき、このごろいつもいません。しごとにいっているからです。おかあさんは、よるになるとかえってきます。いつもかえったら、おかあさんのヘルメットがおいてあります。きのう、おかあさんがかえってきて、ごはんのとき、たくさんあるいたから、あしがだるいといっていました。このあいだあさはやくおしっこがしたくておきたら、下でガタガタとおとがしたので、いってみたら、おかあさんがごはんをたいていました。それでぼくがおきると、もうおかあさんがしごとにいってしまいました。いつもよるになると、こわいといっています。おかあさんはいつも、おべんとうをつくってもっていきます。いつもどこでたべているのかな。



古舞小学校(2年) 宇野ゆかりちゃん



お父さん

わたしのお父さんは、とてもやさしいです。わたしが、お母さんにおこられていないと、お父さんはわたしに「あとで、おこってやるからな」と、いいます。お父さんの大すきなところは、いっしょに野きゅうをしてください、キャッチボールをしてください、たりしてあそんでくれることです。でも、なにかお父さんがしごとをしているとき、行ってじゃまをしたら「こら、じゃまするな!」と、どなられます。へやの中をちらかしておいたら「かたづけなさい」と、おこられることもあります。たいへんだなあと思うことは、作もつをそだてたり、車をあらったり、なおしたりしていることです。それに、同じしごとを何回も何回もやってよくあきないなと思っています。

献血の輪をひろげよう

一人ひとりの善意がなにより大切

病気やケガを治療するときに使う血液は、医学の進歩や交通事故の多発などにより、年々増加しています。このため、輸血を必要とする人たちの生命を救うためには、一人ひとりの善意がなにより大切となっています。献血車の来町をお知らせした時は、ご協力をお願いいたします。



ライオンズクラブから粗品

血液センターでは、献血者の善意に応えて、健康づくりに役立つ肝機能など、七項目の血液検査結果を、全献血者に通知しています。なお、幕別ライオンズクラブでは、昨年十二月九日と十日の献血のときに、広報車による町民への献血の呼びかけ、献血者への粗品のプレゼントを行いました。

十一年間ぞうきんを寄贈



ぞうきんを縫うハルさん

菅野ハルさんが駒島小、中に（九一歳）で、以前は弘和に住んでいた、今は大樹町特別養護老人ホームで、生活しています。十一年間、ぞうきんを贈ってきた理由は、ひまごが学校でお世話になってお礼ということ。今年も、百枚づつを送りました。ハルさんは、足と耳がすこし不自由なほかは大変お元気で、毎日暇をみては、ベッドの上でぞうきんを縫っているとのこと。小学校では「毎年、ぞうきんを贈っていただき大変助かり、いつも大切に使用させてもらっています」と話していました。

中寺さん 農林水産大臣賞

永い間農業委員に貢献



中寺常次郎さん(77) 札内泉町

このほど、中寺常次郎さんが農業委員農林水産大臣賞を受賞しました。

中寺さんは、昭和二十六年に農業委員に就任以来、三十年余りの永い間、農業委員および農業委員会長として、農地行政の適切な執行と推進に努めるとともに、地域農業振興を図るために尽され、その功績が認められました。また、昭和二十一年に農地委員

となり、以来昭和二十六年七月の制度改正に至るまで、戦後の農地制度の改正に当たって、幾多の障害にも屈することなく、円満な解決に努力されました。

寄付者のお名前

町社会福祉協議会へ……

- ▽国中シズさん(札内春日町)から夫が生前お世話になりましたと五万円
- ▽高橋昭さん(猿別)から六千六百八十六円
- ▽白木昭一さん(上稲志別)から父が生前お世話になりましたと三万円
- ▽清原照吉さん(寿町)から五十三年に火災に遭った時、お世話になりましたと三万円
- ▽長尾保さん(札内青葉町)から母が生前お世話になりましたと二十万円
- ▽藤幸会(代表・藤間幸澄)から五万円
- ▽前田享くん(旭町)から千円
- 老人クラブへ……
- ▽目黒節子さん(相川)から幕別老人クラブと相川北公区一心会へそれぞれ五万円
- ▽進藤次郎さん(新川)から明野・新川長寿会へ一万円
- ▽谷地田貞吉さん(明野)から明野・新川長寿会へ五千元
- ▽石井定美さん(相川南)から相川南老友会へ三万円
- ▽白木昭一さん(上稲志別)から日新寿会へ三万円
- ▽長尾保さん(札内青葉町)から札内寿会へ五万円

その他

- ▽目黒節子さん(相川)から幕別真幸協会後援会へ三万円

短歌

あゆみ会 十一月詠草

枯れすすむいばたの垣根越えて咲く萩のうす紅風にこぼるる

高木サワ子

洗濯機の泡の渦巻見つついて一つの迷ひ消されてゆきぬ

宗広とくえ

寡婦となり五十路も終へる妹は会ふ度戯れて背丈比べる

妹尾 道子

庭の梨枝重たげに捻りても食む子等もなくカケス啄ばむ

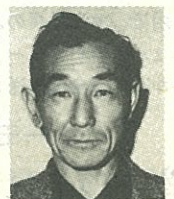
鎌田あさの

訪れる季の先ぶれか風花は陽を翳らせつしきり舞い来る

棚 久子

ストップ・ザ・交通事故

— 8 —

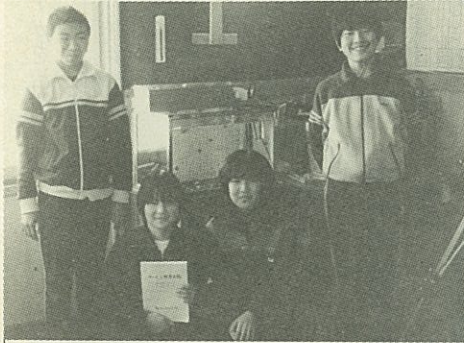
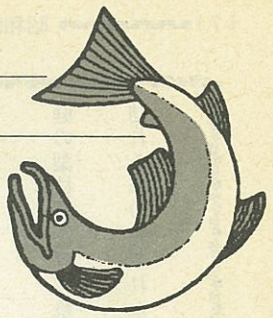


日新十一三六 中村勝美さん

公区ぐるみで交通安全対策を……

私たちの日新公区には、中央に町道日新線が通り、また、途別・豊岡線が交差し

ています。近年、非常に交通量が頻繁となり、その安全対策には公区ぐるみで気を使っています。例えば、地域で開催する交通安全講習会には、多数の出席があり、会合などの際には、必ず交通マナーや運転技術などの話し合いが行われているのが通例になっています。結婚式などの酒席には、必ず運転手を決め、乗り合わせの徹底があるわけで、交通三悪(酒酔い、スピード違反、無免許)はありません。昔のことばに「初心にかえれ」ということがあります。大変な努力があったわけで、あの時につけた技術を忘れてはならないと思います。



ふるさと館の他に、幼稚園を含め10カ所の学校でもサケの赤ちゃんが誕生しました。小さな瞳に見守られながらすくすくと育っています。

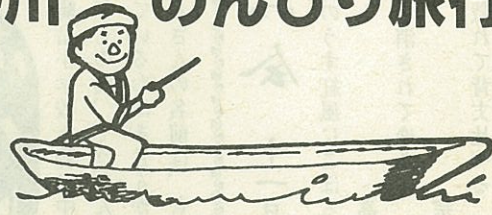
駒島中学校(写真・上)では校舎内の室温が低く水温が1~2℃くらいまで下がってしまうため、ヒーターで水温を12℃に上げています。サーモン飼育日誌に毎日のようすが細かく記録されています。11月に新校舎へ引っ越した白人小学校(写真・中)の悩みは駒島中学校とは反対に水温が高くなってしまふこと。飼育指導をしている馬淵先生が氷を入れて水温を下げてくれています。

ふるさと館で生まれた卵の一部、3000粒を12月19日、札幌へ輸送しました(写真・下)。北海道テレビ放送が行なっているサーモン・スクール用で、サケ成長のようすが4月下旬まで毎日、ニュースロータリー(毎週月~金・夕方6時10分から)で全道放送されています。

サーモン通信 ⑳
学校飼育、ふ化に成功

開拓の道をたどる

十勝川 のんびり旅行



ことしのビッグ・イベントは七月下旬。サバイバル・スクールに続く「ふるさとの歴史体験・第二弾」——十勝川のんびり旅行です。

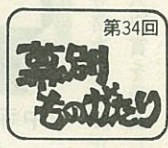
はるばる海を渡り大津(豊頃町)に着いた人々は、十勝川沿いにそれぞれの開拓地をめざしました。その道すじを水路と陸路の両方からたどってみようという計画です。

十勝川沿いには当時の面影はほとんどないほど開発されましたが、幕別までやってくるのにどれだけ苦労があったのか、そのごく一部は感じとれることと思います。

陸路は大津道路(旧国道)を歩き、水路は十勝川を丸木舟でさかのぼります。どちらも九十年前の十勝の人と自然を想像しながらの「てくてく旅行」です。

丸木舟の製作は五月から、試運転をかねて大津まで川を下ります。

丸木舟製作スタッフ募集中●手先が器用じゃなくても挑戦心さえあれば可。夏、あなたが作った舟が十勝川を流る。



三角乗りして お見舞に

豊岡小学校

豊岡小学校は、新田農場主、新田愛祐氏の寄付により大正十四年白人小学校の稲志別教育所として開校、昭和四十八年の閉校までの四十八年間に、二百六十八名の卒業生を送り出した比較的、歴史の短い小学校です。

当時は生徒のほとんどが、新田農場に従事している家庭の子供でした。

「豊岡という所は大変、水の便

の悪い所だな、当時は、一弁ピンに水を持って学校へ、通ったものだ。百尺(約33m)の井戸を、掘ったが、とうとう水が出なかったという話も聞いた。」と、豊岡に住む笹原明雄さん(55歳)は話してくれました。この話の様に豊岡小学校は、開校以来ずっと、水不足に悩まされやがて校舎は、良質の水を求めて沢すたいに移動しました。

直径八十センチ、長さ六・五メートルの原木をコツコツと削り、丸木舟を作るスタッフを募集します。町内に住む十五歳以上の人で、男女は問いません。定員は十名ですので申し込みはお早めに(電話で可)。

なお、十勝川のんびり旅行のくわしい内容は、ふるさと館ニュース④(6月号)で特集します。



豊岡小学校の校舎(昭和41年)

「一番の思い出と言えば、モハチャ、オネナイ、西猿別と合同でやった運動会だった。知らないやつらと走ったりして、それは楽しかった。あと、佐伯栄荘先生が帯広の病院に入院した時、山ぶどうを持って自転車に三角乗りして見舞に行った事だ。今の時代ならとても危なくて、そんな事はできないよ。」

笹原さんらの卒業した学び舎は今もありませんが、その跡地には、HBCのテレビ塔が、今もそびえ立ち、卒業された方々は、いつまでもその跡を忘れることがないでしょう。

(取材・横山 渡)

●大正14年(1925)：新田愛祐氏より校地・校舎・校具のいっさいの寄贈を受け開校。生徒3名。●昭和4年(1929)：稲志別尋常小学校として認可。●昭和10年(1935)：良質の水が湧出する所へ、校舎移転。●昭和16年(1941)：校名を稲志別尋常小学校より、稲志別国民学校と改称する。●昭和22年(1947)：豊岡小学校と改称。●昭和38年(1963)：水道施設工事が行なわれ、学校に水道がつき長年の夢が実現。